

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	健康づくり支援事業			会計	款	項	目	大事	小事
政 策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課				
施 策	4-4	健康で明るい暮らしづくり			主管課長	伊原 理香			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民の一人ひとりが自らの健康を守るという意識を持って健康寿命を延伸させる。
事業内容	平成27年3月から市民の健康づくりを図るため健康づくり支援計画を策定している。市内15カ所の施設に健康チェックコーナーを設置、喫煙の健康影響及び受動喫煙防止に関する知識の普及啓発、食育の推進を図るための事業を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	健康チェックコーナーは、平成17年度から市内公共施設等に体組成計、身長計、全自動血圧計を設置し、現在、15カ所に設置している。さらに、平成27年3月に「健康づくり支援計画」を策定した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	① 血圧計利用者数	77491			人		
	② 健康づくり講習会（禁煙）参加者数		198	118	人	↑↑↑	
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・血圧計利用者数は、平成27年度までは、利用者数を把握していたが、老朽化により、平成28年度から割安な簡易測定用の機器に交換したため利用者数を把握していない。 ・食育でバランスのとれた食事の摂取について、3歳児健診時での聞き取りでは、ほぼ横ばい状態であり、今後の取組の強化が必要。 ・受動喫煙防止対策では、平成24年度から、市内小中学校の児童生徒を対象に流山市医師会の医師による受動喫煙防止教育を行っている。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,192,455	2,731,753	2,446,209			
事業費(b)(円)		933,455	672,253	432,609			
うち一般財源		933,455	672,253	432,609			
職員給与費(c)(円)		2,259,000	2,059,500	2,013,600			
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継	続（事業を現状どおり継続すべき）				

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	健康づくり支援計画の数値目標に向けた実績値の把握を行う必要がある。	③取組の課題	健康づくり支援計画の数値目標に各事業で照らしあわせ進捗を確認する。
②今年度(H29)に実施した取組	健康づくり支援計画にのっとり、市の取り組みを着実にすすめていく。	④今後(H30以降)の改善計画	健康づくり支援計画の中間評価を実施し、実績値の把握を行い、方向性の確認を行う。